

お元気 ですか

“高齢者”に多い病気

— これからの季節注意したい脳卒中 —

市立長浜病院に緊急で搬送される高齢者の患者さんの多くは、転倒による骨折または脳卒中によるもので、特にこれからの寒くなる時期には脳卒中の割合が非常に高くなります。

脳卒中は、脳の血管がつまったり、破れたりして、その先の細胞に栄養が届かなくなり、細胞が死んでしまう病気です。発作が起きた後に一部後遺症を残してしまうこともある怖い病気ですが、早期に治療すれば回復するものこの病気の特徴です。そのためには、医師が効果的な治療を施すのはもちろんのことですが、陰で支える看護の力も重要な役割を占めています。

「もし脳卒中を発症したら・・・」と不安を感じる人は少なくありません。そこで今回は、脳卒中を発症してから退院までの治療の流れを、救急搬送、救急救命、病棟、リハビリなどの現場で働く看護師・介護士の声を通じてご紹介します。

救急車で運ばれたら

①『救急センター』から治療が始まります



ここでは、救急救命が行われます。脳卒中で救急搬送された患者さんには、脳血管撮影などで検査を行い、まずどここの部分が悪いのかを調べ、治療に入ります。その際に気をつけているのが、急な発症による不安な思いを受け止めること。患者さんやご家族には、処置内容等について十分な説明を行うように心掛け、迅速な判断と的確な処置で、大切な命を守る医療を次の現場へ繋げます。

救急センター看護師 中村直哉 さん

緩和ケア外来相談窓口を開設しました！

広報きゃんせ長浜9月号17ページでお知らせした「緩和ケア」に関する外来相談窓口を開設しました。がんの痛みや症状に関する苦痛、精神的な苦痛などで困りの方はご相談ください。

初期治療が終わった後は

②『ICU』へ

ここは、急性期の重症患者さんの治療が行われるところです。ここでは、血栓を溶かす薬剤を静脈から投薬し、閉塞した血管を再開通させる血栓溶解療法や、脳内出血が起こらないように血圧や脈拍数の変動など全身の状態をくまなく観察しながら看護を行っています。また、重症治療室という特別な環境の中で抱かれる患者さんやご家族の不安を、少しでもやわらげられるように声をおかけしたり、治療に関する説明を十分行うようにしています。



ICU看護師 橋本宏枝 さん

病状が安定したら

③いよいよ『一般病棟』へ



脳卒中は、一度大きな発作が起きると、その後にマヒや言葉の障害が後遺症として出てしまうことが多いため、日常生活の動作に自信を持っていただけるように、食事や排泄などの訓練や指導を行います。その際に心掛けているのは、自分や自分の家族が受けたいと思う看護をすること。また、訪問看護師やケアマネージャー、医療社会相談室と連携をとり、退院後、安心して自宅で過ごしていただけるような環境づくりのお手伝いもしています。

3階西病棟看護師 吉岡麻衣子 さん

一般病棟ではこのような介護も

④『退院』に向けて

私たち介護士は、患者さんの日常生活のお手伝いをする一方で、季節行事や音楽療法、散歩、頭や身体を使うゲームなど「遊ばりテーション」を行っています。脳卒中はその後のリハビリが肝心。続けることが大切で、しっかり行えば成果も上がります。患者さんとともに楽しくリハビリが行えるように心掛けています。また、患者さんの気持ちの落ち込みやご家族の看病疲れを取り、笑顔や元気も取り戻すのも仕事のひとつです。

3階西病棟介護士 馬場真弓 さん

救急搬送されてから退院されるまで、看護・介護を現場から現場へと継続しながら、患者さんをお守りしています。

【場 所】療養病棟1階医療社会相談室
がん相談支援センター内

【相談方法】電話・Eメール・面談で
※面談での相談をご希望の方は、事前にご連絡ください。

☎2354(直通)

Eメール：nch@mx.biwa.ne.jp

『新型インフルエンザ』をご存じですか？

新型インフルエンザウイルスとは、動物、特に鳥類のインフルエンザウイルスが人に感染し、人の体内で増えることができるように変化し、人から人へ効率よく感染できるようになったもので、このウイルスが感染して起こる疾患が新型インフルエンザです。新型インフルエンザがいつ出現するのか、誰にも予測できません。

新型インフルエンザは、今まで人が感染したことのない新しいタイプのインフルエンザです。確実に効果のある治療薬やワクチンがないことから、発生後は感染が急速に広がり、市民生活に大きな影響を及ぼすことが心配されています。

従来のインフルエンザの
流行時期になってきました。
手洗い、うがいを励行しましょう！

お問合せは、健康推進課(☎7779)へ。

12月1日は「世界エイズデー」

エイズは、HIVというウイルスに感染することによって起こります。HIVに感染してもエイズを発症するまでは自覚症状がほとんど無く、HIV検査を受けなければ感染しているかどうかわかりません。

世界では昨年1年間で新たに250万人がHIVに感染し、210万人がエイズにより死亡しています。日本でも毎日4.1人が新たな感染者となっています。

HIV検査は全国の保健所で
「無料・匿名」で受けることができます。



安心と早期発見のためのHIV検査を受けましょう！

0次健診の日程（12/15以降）

【長浜市保健センター】

12月17日(水)

1月7日(水)、13日(火)、16日(金)、17日(土)、18日(日)

【市役所浅井支所】

1月23日(金)、24日(土)、25日(日)、26日(月)

※各健診日とも受付時間は、9:15、9:45、10:15、10:45、13:00、13:30、14:00、14:30、15:00

《予約方法》0次健診は完全予約制です。事前に健康推進課(☎7779)まで電話で予約してください。

午後の受付が空いています。
ご予約お待ちしております。

お知らせ

対 策

○自分を守るために

これまでのインフルエンザ予防法は有効です。

■外出時のマスク着用

■外出後のうがい、手洗い

■日頃から十分な休養、バランスのよい食事をとり体力や抵抗力を高めましょう。

○人にうつさないために（咳エチケット）
ウイルスはせきやくしゃみなどから感染します。

■せきやくしゃみをする時はティッシュ等で押さえ、密閉して捨てるようにしましょう。

■せきなどがでる時はマスクを着用し、感染防止に努めましょう。

レッドリボンはエイズに対する「理解」と「支援」の象徴

レッドリボンはあなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。

12月1日は「世界エイズデー」です。みなさんもこれを機会にレッドリボンの意味を知り、エイズについて考えましょう。

エイズに関するご相談・お問合せは

フリーダイヤル

0120-177-812へ。